

清須市民オンブズマン 市長選挙特集号

柁会 

平成29年7月

発行者:清須市民オンブズマン柁会

TEL:052(409)4561

清須市長選挙 立候補者へのアンケート

平成29年7月23日 清須市制となって4回目の市長選挙が実施されます。市民の声は行政に反映され、市政は期待通りに遂行されたのでしょうか？
災害対策への不安、進まない都市計画に対する苛立ち、未だ目に見えて来ない行政改革等々 市民の声は多様ですが、民意を尊重すべく政策の早期推進を強く望む次第です。

これを踏まへ、今回の市長選挙を前に当会では立候補者2氏に市政方針を伺いたくアンケートをお願いし、その回答及びご意見を提出頂きましたので、両氏承諾の上 原文のまま公表致します。

有権者の方々には、今後の清須市の機能向上と飛躍に繋がる一票の指針となればと思います。

立候補予定者の方々には下記依頼文を添えた上でアンケートにご協力頂きました。

清須市長選挙 立候補者

様

市制施行12年、平成29年7月23日に4回目の清須市市長選挙が行われます。市民の声はどれだけ市政に反映され、どれほどの成果を残したのでしょうか。未だ道半ばの中、突然近隣の市より名古屋市への合併の呼び掛けがありました。清須市民は驚きと戸惑いを感じています。そんな節の市長選挙だけに今回の選挙の争点が合併推進か否かの二者択一になる事を危惧します。

そこで市長に立候補をされている方々に、清須市長としての任期4年間で取り組む政策に関して質問させていただきますので、回答・御意見をお聞かせ下さい。清須市躍進の為の、賢明な有権者の一票に繋がる事を期待したいと思います。

尚 御回答頂いたものは原文そのまま清須市民オンブズマン終会 市長選挙速報として公表配布いたしますので、ご了承頂いた上 指定用紙にご記入頂きます様お願い致します。

清須市民オンブズマン終会

清須市長選挙立候補者への質問

立候補者名： 永田 純夫

今回、市長選挙の立候補に至った決意の一端と あなたが考える街づくりのビジョンをお聞かせ下さい。

1 清須市も平成17年に市制施行を始めてから12年が経過いたしました。この間、排水ポンプ場や下水道の整備、区画整理事業などのインフラ整備を進める一方、公共施設の統廃合や職員削減などにより財政基盤を強化するとともに、子ども医療費の拡充や福祉サービスの充実に向け、市職員の一員として努めてまいりました。

しかしながら、まだまだ課題は山積いたしております。そして行政に終わりはありません。様々な課題を克服し、清須市を更に発展させていくためには、行政の一定の継続性と市政の安定性が不可欠であると考え立候補することを決意いたしました。

これからの清須はどうあるべきか、どう進んで行くべきかということですが、やはり、市民の皆さんの生命と財産を守る安全・安心が市の責任の第一であり、防災対策や防犯対策が最重要課題であると考えています。清須市が魅力ある街になるためにも、安全で安心して暮らせる体制を整えていかなければなりません。

そして、市の人口は全国的には人口減少時代に入った今も着実に伸びていますが、平成32年をピークに減少局面を迎えることが予想されており、引き続き子育て支援策を始めとする少子高齢化対策に取り組むことが必要です。

次に、名古屋市との合併問題であります。私は、合併問題は、正に市民の皆さんと共に考えていくべき問題であると考えています。

まずは、市民の皆様が安全で安心して元気に暮らしていただけるよう、力強い清須を実現すると共に、清須市に誇りを持っていただけるよう全力を尽くす必要があると考えています。

2. 清須市長としての任期4年間で取り組むべき課題について、優先度が高いと思う順番にアラビア文字で括弧内に記入して下さい。

教育	(2)	都市計画	(3)	災害時対策	(1)	福祉政策	(2)
行政財政改革	(4)	治安防犯	(1)	環境対策	(6)	観光開発	(5)
その他	(7)						

3. 設問2の優先課題について、上位3つを下記2項目の内容で具体的にお答え下さい。

<A> 政策目標(何をを目指すのか) 政策内容(何をするのか)

優先課題(1)

<A>

清須市は平成12年に東海豪雨という未曾有の大災害に襲われました。最近では1時間当たり100ミリを超えるゲリラ豪雨も多発いたしております。さらには南海トラフ巨大地震への備えも大切であります。また、泥棒が多い地区とも言われており、防犯対策も重要課題であります。

具体的には、五条川や水場川の改修や庄内川と新川の河床掘削を国・県にお願いすると共に、下之郷第3幹線や土田幹線を始め雨水幹線の整備と排水ポンプ場の耐震化、雨水貯留施設の整備を進めます。また、自主防災組織への支援や地域防災リーダーの養成を強化します。さらには、防犯カメラの設置も増やしていきます。

優先課題(2)

<A>

子どもは、清須の宝です。清須市の子どもが健やかに成長するためにも、そして、清須市の人口を維持するためにも、子育て支援対策は極めて重要であります。安心して妊娠・出産・育児ができる環境をつくとともに、充実した保育・教育を行い、子育てのしやすいまちをつくります。

具体的には、保育園の待機児童ゼロを堅持します。そして、経済的負担を軽減するため、第2子保育料を段階的に無料化します。次に、放課後子ども教室の充実であります。現在、古城小学校、桃栄小学校、星の宮小学校、清洲東小学校では放課後子ども教室が行われておりません。出来るだけ早く、この4小学校でも行い全校で実施します。更には貧困や格差問題にも取り組みます。そして、小中学校の校舎の安全対策については、全ての小中学校の長寿命化工事を実施すると共にエアコン設置も検討します。

優先課題(3)

<A>

魅力ある街を実現するためには、基盤整備や環境整備が欠かせません。豊かな水辺空間や歴史的資源を活かして、利便性に優れ、自然と調和して快適に暮らせるまちをつくります。

具体的には、新清洲駅北、JR清洲駅前、春日学校橋西、春日新橋西で行われている区画整理事業、名鉄名古屋本線高架化事業、枇杷島橋や清洲橋の架け替え、下水道、都市公園、地域内幹線道路の整備など計画に沿って、しっかりと取り組みます。更に、火葬場の建設に全力で取り組みます。観光の面では清洲城と平成32年にオープンする新貝塚資料館を連携させるよう周辺整備を進めます。また、あしがるバスは現在、利用者が伸びておりますが、もっと利用しやすく、そして交通弱者の皆さんの足になるようバスを増便し、さらに充実させます。

清須市長選挙立候補者への質問

立候補者名：渡辺ひでと

1. 今回、市長選挙の立候補に至った決意の一端とあなたが考える街づくりビジョンをお聞かせください。

● **決意：** 市長選挙は、私にとって三度目の挑戦です。

私は8年間、しがらみや古い慣行にとらわれた旧態依然とした政治風土を目の前にし、これと格闘してきました。今回この現状を打破し、市民本位の市政運営を確立するため、立候補を決意いたしました。

清須市は、重要な市政・議会情報を市民に積極的に開示しようとする姿勢が欠如しています。既に、排水路整備をはじめとて様々な課題を先送りするほど厳しい財政であるにも関わらず、効果的な行政改革も出来ず、市民に情報提供も行っていません。今後の少子化を考慮すると、一刻も早く正常な市政に戻す必要があります。

さらに、健康で清潔な市民生活を営むうえで重要な下水道整備は愛知県下で最も遅く、ようやく平成25年度に供用が始まりました。大都市部周辺としては通常考えられないほどの整備状況です。今後少子化の悪影響が懸念される時代となって、一人当たり事業費は大きな負担となります。加えて、国は消費増税、医療費や介護費の削減を行うなど、今後の市民負担は一段と重くなります。また、大地震が予測される今日、その復興は人口減や財政が枯渇して困難となってしまいます。

それらを念頭に「名古屋市との合併」は欠かせない選択肢であると考えていますが、昨年末に北名古屋市からの誘いがあった際にも現市政当局は積極的に動こうとしていません。

それだけでなくも現下の行政の枠組みでは、昭和40年頃に計画した幹線道路は50年以上経過しても一向に完成していません。さらに、昭和30年の清洲小、新川小学校などの施設を抱えているにも関わらず、学校の再編計画を作らないまま建て替えをしないで長寿命化でしのごうとしています。

公的施設の再編は、行財政改革に取り組む自治体にとって真っ先に取り組むべき最重要課題です。これら、財源不足、都市基盤整備の遅れ、震災対策をただすべく「清須の抜本改革」のため、市長選挙に立候補の決意をいたしました。

● **まちづくりビジョン：** 子どもや高齢者に寄り添いつつ、魅力と活力にあふれた健康都市「清須」をつくります。最小の投資で最大の効果が上がるよう、限られた財源の中、効果的に特色ある街づくりを目指します。

《ソフト面》

- ・身を切る改革、市長の報酬カット
- ・市民参加によるまちづくり、市民意見交換会の開催
- ・身近な受付・相談窓口を復活、サービスセンターの活用
- ・健康づくり（介護予防）事業を抜本改革
- ・名古屋市との合併検討会開催

《ハード面》

- ・人、モノの域内移動を渋滞なくスムーズに、同時に効率的にするため地域幹線道路整備計画を策定、着手します。
- ・あしがるバスと北名古屋市、名古屋市バスの相互乗り入れ
- ・公的施設の再編

2. 清須市長としての任期4年間で取り組むべき課題について、優先度が高いと思う順番にアラビア文字で括弧内に記入して下さい。

教育	(1)	都市計画	(7)	災害時対策	(4)	福祉政策	(1)
行政財政改革	(6)	治安防犯	(4)	環境対策	(7)	観光開発	(7)
その他	(健康 / 1)						

3. 設問2の優先課題について、上位3つを下記2項目の内容で具体的にお答え下さい。

<A>政策目標 (何をを目指すのか) 政策内容 (何をするのか)

優先課題(1) 教育・健康・福祉

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・学校再編・女性の就労支援、子どもの貧困をなくす、並びに地域で子どもの教育をバックアップ・家庭介護が増大すると予想される今、介護離職を予防する・介護、医療費の削減・障害者サービスの充実 | <ul style="list-style-type: none">・制度の谷間で利用できない高額用具の利用・認知症患者対策の充実 |
| <ul style="list-style-type: none">・地域こども塾の創設・ブロック別「健康、料理」教室開催・障害者サービス事業者の定着支援・築60年超の老朽施設の早期建て替え、財政平準化計画の策定 | <ul style="list-style-type: none">・保育サービスを拡充(夜7時半に延長、休日保育)・障害者向け用具のレンタル化 |

優先課題(2) 災害時対策・治安防犯

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・災害時の安心安全・犯罪の根絶 | |
| <ul style="list-style-type: none">・防災区の創設、防災を考えたまちづくり推進・名古屋市との合併・通学路の安全対策、見守り活動支援 | <ul style="list-style-type: none">・ブロック毎の減災活動に、担当職員を配置・防犯カメラの増設 |

優先課題(3) 行政財政改革

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・持続可能な財政の実現と最小限必要なサービスの維持 |
| <ul style="list-style-type: none">・市長報酬のカット・公的施設の再編・事業仕分け(行政刷新会議)を開催・議員定数の削減・サービスセンターを活用した身近な受付・相談窓口設置 |